

第1回千葉大学リンパ浮腫研究シンポジウム
(平成27年度千葉大学産学官連携イノベーションフォーラム)
開催報告書

平成28年3月5日(土)に、千葉大学医学部附属病院外来A棟3階ガーネットホール(旧大講堂)において、第1回千葉大学リンパ浮腫研究シンポジウム(平成27年度第2回千葉大学産学官連携イノベーションフォーラム)を開催いたしました。『医看工学の知の融合によるリンパ浮腫治療への新たなチャレンジ』をテーマに、当日は産業界、大学関係を中心に148名の参加者があり、活発な議論が展開されるなど、成功裏に終えることができました。

《プログラム》

I. 開会挨拶(13:00～13:10)

千葉大学 学長 徳久剛史、理事(研究担当) 松元亮治

II. 講演(13:10～17:30)

1) “リンパ浮腫の最新の診断とリンパ管静脈吻合術”(40分)

横浜市立大学大学院医学研究科形成外科学 教授 前川二郎

・最初に、なぜリンパ浮腫の治療が難しいのか?という問いから始まって、「リンパを運ぶリンパ管が細くて見えないから」という回答を得て、更に細さに対する対応策としてマイクロサージャリーによる治療、見えないに対する対応策としてリンパ管の可視化(リンパ管造影、リンパシンチグラフィ、ICG蛍光リンパ管造影、MRリンパ管造影など)と分析され、

I. リンパ浮腫の診断

II. リンパ管静脈吻合術

と分けて、リンパ浮腫治療の過去/現状を余すところなく説明され、最後にリンパ浮腫治療には各方面の医療連携が必要であると説いた。

2) “三次リンパ組織の人工的構築”(40分)

九州大学名誉教授 北野病院 医学研究所 特任研究指導者 渡邊 武

・特定のストローマ細胞と骨髄由来樹状細胞を用いることで、マウスにおいて二次リンパ節と類似の構造を持つ人工リンパ組織(実際には三次リンパ組織)を作製することが可能であることを説明され、この人工リンパ節は高い抗原特異的免疫反応誘導能を有し、さらにこれらの人工免疫組織は抗腫瘍活性をも発揮しうることを示して、免疫賦活装置としての可能性を説明された。

・さらには人工リンパ組織内での毛細血管、毛細リンパ管の形成が生じること、ヒトのストローマ細胞あるいはストローマ由来環境因子のみを利用して、ヒトの系で免疫誘導能を有する免疫組織の新規構築(synthesis)を試みていることを説明された。

・将来的には人工免疫組織・臓器を疲弊した二次免疫組織の代替として利用し得る段階にまで研究を進めたいとのことである。

3) “看護学におけるリンパ浮腫研究” (40分)

東北大学大学院医学系研究科 助教 有永洋子

・看護学の立場から、リンパ浮腫看護研究の背景、リンパ浮腫セルフケアプログラム開発、リンパ浮腫セルフケアプログラム検証、今後の研究と分けて説明され、リンパ浮腫看護研究のトレンドはセルフケアにあり、リンパ浮腫発症および悪化予防の鍵はセルフケアの維持にあり、いかに患者のセルフケアモチベーションを維持するかが課題として、講演を結んだ。

4) “医療用弾性着衣のものづくり” (30分)

アルケア(株)ウインド&オストミーケア開発研究部 石川 猛

・弾性ストッキング等の弾性着衣による圧迫療法は、静脈・リンパ還流の促進や微小循環の改善が期待できるとして、静脈疾患、リンパ管疾患等で広く普及しているが、種類が多いため、弾性ストッキングの選定には編機の理解、糸(素材、構造、物性等)の理解、さらに編み構造と呼ばれる糸と糸の組み合わせ方の理解が欠かせないことを説明された。

5) “リンパ浮腫の予防および早期治療への空圧マッサージ器の効果と活用法” (30分)

メドレー産業(株) リニア販売部 課長 小島 剛

・間欠的空気圧迫法(IPC)は以前より行われているが、適応、加減圧様式、圧迫力などのエビデンスが少ないこと、前川先生との共同研究により、透明カフブーツを使う改良型メドマー(PM-8000)を開発し、ICG 蛍光リンパ管造影を用いて、IPC 施行中のリアルタイムなリンパ動態を健常人で調べたとして、その結果を報告された。加減圧様式・圧力によりリンパの流れが異なる由。

……………以下、各10分の講演……………

6) “千葉大学リーディング研究育成プログラム推薦候補課題としてのリンパ浮腫研究”

千葉大学大学院工学研究科 教授 武居昌宏

7) “リンパ浮腫完治へのチャレンジ”

千葉大学大学院医学研究科形成外科学 助教 秋田新介

8) “リンパ浮腫ケアにおける看護実践の展望”

千葉大学大学院看護学研究科 准教授 増島麻里子

9) “リンパ浮腫の物性計測 学理創生へのチャレンジ”

千葉大学フロンティア医工学センター 教授 山口 匡

10) “リンパ組織形成のメカニズム”

千葉大学大学院医学研究院 特任准教授 八木良二

11) “リンパ浮腫治療に係る医療経済評価”

千葉大学附属病院・病院長企画室 特任准教授 小林美亜

12) “リンパ浮腫ディプレッション・フリーのための人間工学的デザイン”

千葉大学大学院工学研究科 教授 下村義弘

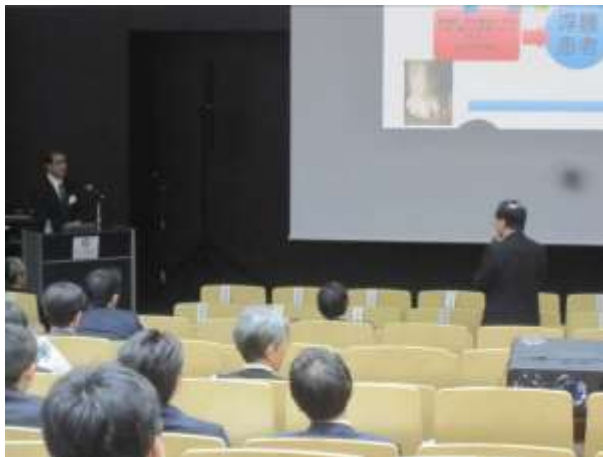
Ⅲ. 閉会挨拶 (17:30 ~ 17:40)

千葉大学 学術研究推進機構 産業連携研究推進ステーション 副所長 北村 孝司

Ⅳ. 意見交歓会 (17:50 ~ 19:30)

(会費 3,500 円、場所：展望レストラン「ヴァンセーヌ」)

参加者：37 名



アンケート